

四つの季節の鉄道ものがたり
第三話

冬

花の、海の、
季節を乗り継いで、冬に。

宮下奈都

春は、花。

古びた小さな駅で、緑色の電車を降りる。

極楽寺の参道の桜のトンネルはすてきた。桜の名所はあちこちにあるけれど、この桜並木の奥ゆかしい佇まいはほんとうに好ましい。

花といえば古来、桜のことを指したそうだけれど、梅雨に入る頃の紫陽花もそれはそれは見事だ。極楽寺から成就院へまわって、紫陽花の咲き誇る石段を歩く。山門のあたりから見下ろすと、ずっと向こうに海が見える。

そう、海だ。特に、夏。夏は、海。

鎌倉を始発とする江ノ電に乗って、由比ヶ浜、稲村ヶ崎、七里ヶ浜。老若男女、日焼けして、でもどこことなく粋なお客さんたちが潮風をまよって乗っ

てくる。

私は粋ではなかったけれど、幾度も江ノ電に乗った。当時好きだった人が、海が好きだと話してくれた。学生の頃、江ノ電から見える海水浴場で監視員をしていたという。今ならライフガードと呼ばれるのだろう。

私の育った町は日本海側にあった。海は好きだったけれど、岩場の多い、波の荒い海だった。鎌倉から続く穏やかな太平洋を見たくて、そして何年か前にその海水浴場で監視員をしていた人の姿を思い浮かべたくて、緑色の、たつた二両の、始点から終点まで10kmほどの、古式ゆかしい電車に乗った。

街から出発し、住宅街を抜け、お花の寺の山門をかすめ、山があり、海が

あり、路面を走り、また街へ出る。全部乗っても三十分あまりのこと。どこで降りても見どころのある、私にとってはいちばん惹かれる電車だった。

秋も、海。

大勢の海水浴客でにぎわう夏の海とはずいぶん表情が違う。水の色が変わり、空の色が変わり、砂浜の色まで変わって見える。夏の海より少しさびしくて、でも、海本来の色を取り戻したような、美しい碧。それが秋の海だ。海は秋がきれいだと思う。

特に、夕暮れ。七里ヶ浜へ歩く途中で、江の島の奥に夕日が沈んでいった。太陽が海に触れた瞬間、海が金色に輝くのを見た。

さて、冬――。

冬の江ノ電にどんな見せ場があるの

イラスト 岡林玲

みんな

CONTENTS

Vol.

44

2013

◎日本民営鉄道協会とは？

昭和42年に社団法人として設立され、71社の民営鉄道会社で組織されています。輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

懐かしいような古い駅舎を出て、坂道を上る。ふりかえると、駅舎の向こう、冬の陽射しを浴びてきらきら光る海のずっと向こうに、ふわっと白い富士山が見えた。

か、私は知らなかった。見せ場を目当てに乗るのではない。今はもつと近い、親しい存在として江ノ電に乗る。人が暮らす家の軒先をかすめるように走る、レトロな電車。こどもたちが歓声を上げる。もう、私はひとりではない。

江ノ電沿線に暮らしていた人と、結婚した。学生の頃、監視員をやっていた人だ。実家は今もそこにあつて、お花見でなくても、海水浴でなくても、私たちは江ノ電に乗る。

みやしたなつ

作家 福井県生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。2004年「静かな雨」が文壇界新人賞佳作に入选。2007年、初の単行本「スコレNo.1」が話題を呼ぶ。近著に「田舎の紳士服店にモデルの妻」「誰かが足りない」。最新刊に「終わらない歌（実業之日本社）がある。

02 四つの季節の鉄道ものがたり—第三話 冬 花の、海の、 季節を乗り継いで、冬に。

◎作家 宮下奈都

特集／SL運行による鉄道と地域の再生
「大井川鐵道のSL運行と地域の活力創造」

TOP INTERVIEW

04 SL保存運転による 経営基盤の確立と 地域振興

◎大井川鐵道株式会社代表取締役社長 伊藤秀生

REPORT

08 SLをシンボルに、 魅力ある鉄道と 地域をつくる。

◎大井川鐵道株式会社 管理部 課長 山本豊福
◎大井川鐵道株式会社 営業部 課長 伊藤和則

16 SPECIAL INTERVIEW 島田市の

「大井川を軸とした地域づくり」と大井川鐵道

◎島田市市長 桜井勝郎

SPECIAL INTERVIEW

20 保存鐵道とは

技術と文化の継承である。

◎大井川鐵道OB／名古屋レールアーカイブス／
白井昭電子博物館 白井昭

TOPICS

24 こころを育む旅のかたち。

親子のほんもの体験で
子どもの「生きる力」を育てる。

◎株式会社JTB法人東京事業開発部 旅いく推進室
室長 大竹千広／マネージャー 遊佐知広

28 連載④ 地方民鉄紀行 上信電鉄株式会社

連載② 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界
福武電鉄南越鉄道沿線名所図絵
◎首都大学東京非常勤講師 藤本一美